

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第49週[12月6日～12月12日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意!

県内の感染性胃腸炎の患者報告数が急増し注意報値を超えた。全国的にノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団感染が多発しており、高齢者の死亡例も報告されている。今シーズン県内では保育園などで感染性胃腸炎の集団感染が8例報告されている。ノロウイルスは感染すれば1～2日程度でおう吐、下痢などの症状があらわれる。特に、抵抗力の弱い高齢者や乳幼児は下痢による脱水症状などで重症化することがあるので、症状のある方は早めに医療機関を受診するなどの注意が必要である。身近な感染防止策として手洗いの励行は重要である。また吐物など、ウイルスを含む汚染物の処理には特に注意が必要である。

《参考》高知県ノロウイルス対策マニュアル

URL <http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/kansenshou/noro.html>

県内情報

○ 患者情報総評

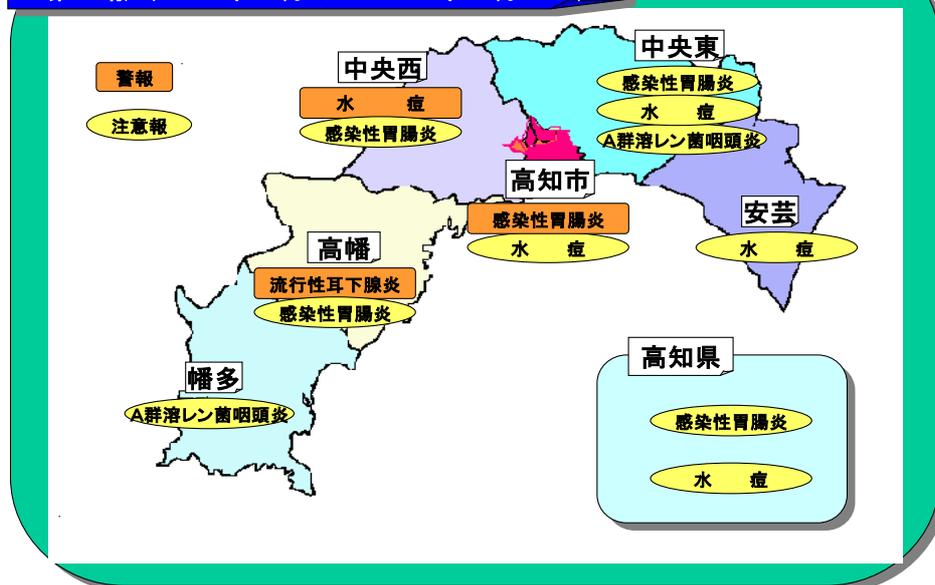
注意報発令疾患：感染性胃腸炎、水痘

- ・ 週初めは晴れて日中は暖かかったが、その後は気温が上がらず平年並みの寒さとなった。
- ・ 感染性胃腸炎（高知市：警報，高幡：注意報，中央東：注意報，中央西：警報→注意報）は中央西でやや減少したが、その他の地域では増加し、総数は約1.5倍増となり注意報値を超した。
- ・ 水痘（中央西：警報，中央東：注意報，高知市：警報→注意報，安芸：注意報）は高知市と高幡で半減したが、その他の地域で増加した。総数はやや減少したが引き続き注意報値を超している。
- ・ A群溶血レンサ球菌咽頭炎（幡多：注意報→注意報，中央東：注意報）は安芸と中央東で増加したが、その他の地域では減少または横ばいであった。幡多と中央東で注意報値を超している。



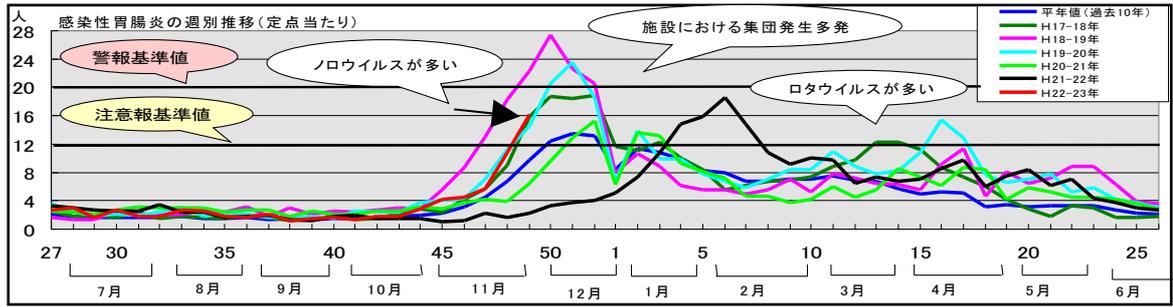
地域別感染症注意報・警報発生状況

第49報 (2010年12月6日～2010年12月12日)



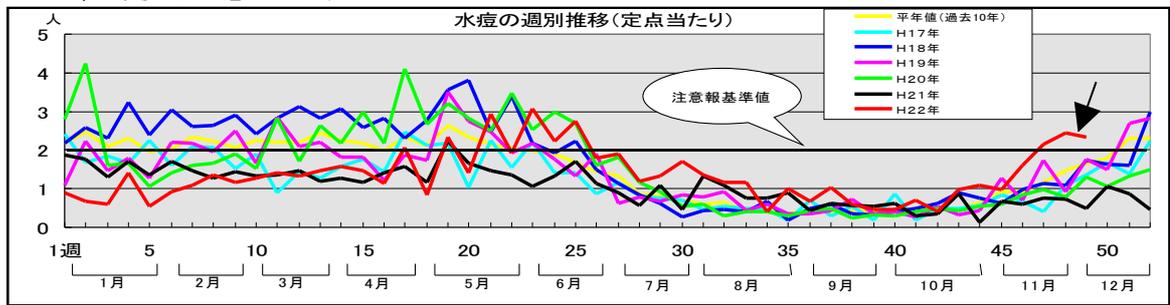
感染性胃腸炎：今週16.13 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

総数は引き続き増加し、注意報値を超した。地域毎にみると、高幡，中央東，中央西で注意報値を超し、高知市では警報値を超した。また、搬入された検体からはNorovirus GII 12件，Sapovirus 1件が検出された。今後も増加が続くと思われるので、推移に注意が必要である。



水痘：今週2.33 (注意報値：2.00 警報値：4.00)

総数はやや減少したが、中央西では急増し警報値を超した。中央東，高知市，安芸では注意報値を超しており、今後も注意が必要である。



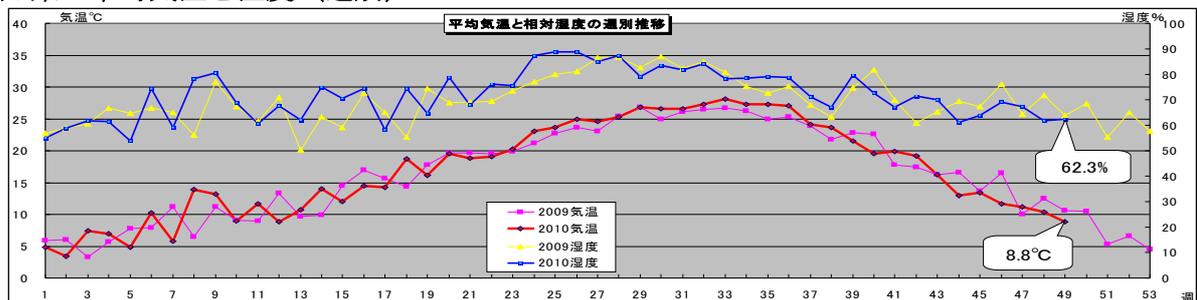
○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
44	咽頭結膜熱	1歳 女	高幡	Adenovirus 2
46	ヘルパンギーナ	4歳 女	高知市	Herpes simplex virus 1
46	咽頭結膜熱	1歳 女	高幡	Adenovirus 2
49	感染性胃腸炎	1歳 男	高幡	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	1歳 女	高幡	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	5歳 男	高幡	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	6歳 男	高幡	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	2歳 男	高幡	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	11ヵ月 女	高幡	Sapovirus
49	感染性胃腸炎	3歳 男	高幡	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	9ヵ月 女	高知市	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	2ヵ月 女	高知市	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	3歳 女	高知市	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	5ヵ月 女	高知市	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	3歳 女	高知市	Norovirus G II
49	感染性胃腸炎	1歳 女	高知市	Norovirus G II
49	マイコプラズマ肺炎	9歳 男	高幡	Mycoplasma pneumoniae

○ 全数報告の感染症情報

今週の報告はなし

○ 高知県の平均気温と湿度 (週別)



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：ヘルペス性歯肉口内炎 1例（1歳男）
マイコプラズマ肺炎 3例（1, 11歳女, 4歳男）

《松谷内科》：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1例（28歳男）は迅速キット陽性

高幡：

《もりはた小児科》：アデノウイルスによる滲出性扁桃炎 2例 帯状疱疹 1例（14歳女）

中央西：

《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（1歳女）は高知市, 1例（2歳女）は久万町,
1例（7歳男）は須崎市

高知市：

《細木病院小児科》：ノロウイルス陽性 1例（2歳女）

《けら小児科・アレルギー科》：アデノウイルス陽性 7例
マイコプラズマ肺炎 4例（6歳男女, 12歳女:2例）

中央東：

《早明浦病院小児科》：某保育園で咽頭結膜熱が流行 某保育所で水痘が継続流行中

全国情報第47週（11/22～11/28）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核267例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症29例（有症者20例、うちHUS 2例）、腸チフス1例

4類感染症：A型肝炎2例、つつが虫病17例、デング熱5例、日本紅斑熱2例、日本脳炎1例、マラリア2例、
レジオネラ症8例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、ウイルス性肝炎（B型）3例、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群9例（AIDS 2例、無症候6例）、ジアル
ジア症1例、梅毒2例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、麻しん5例

報告遅れ：レジオネラ症1例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌
感染症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

◆感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因によるものを包含する症候群名である。全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染を原因とするものであると推測されている。また、患者発生のピークは例年12月中となることが多く、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生例の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられてきた。

ノロウイルスの感染経路としては、以前は食中毒としての経口感染がよく知られていたが、患者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト-ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。乳幼児の集団生活施設である保育所や幼稚園、小児の集団生活施設である小学校等においては、これら接触感染や飛沫感染等により、集団発生が繰り返されてきているものと推察される。また、2006年12月の東京都豊島区のホテルにおいて発生した集団感染事例のように、「吐物や下痢便の処理が適切に行われなかったために残存したウイルスを含む小粒子が、掃除などの物理的刺激によって舞い上がり、それを間近とは限らない場所で吸引し、経食道的に嚥下して消化管へ至る感染経路」である「塵埃感染」が発生する場合がある。ノロウイルスの感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要である。

感染症発生動向調査によると、全国約3,000カ所の小児科定点からの感染性胃腸炎の2010年第47週の定点当たり報告数は12.72（報告数38,582）となり、第42週以降増加が続いている。都道府県別では、大分県（24.0）、福井県（23.7）、山形県（21.8）、山口県（19.8）、静岡県（19.4）、福岡県（18.8）、新潟県（18.6）の順となっている。第47週は39都道府県で前週の報告数よりも増加がみられており、特に静岡県、三重県、愛知県、広島県、福井県等で大きな増加がみられた。

第36週から第46週までの定点当たり累積報告数は63.15（累積報告数191,152）であり、年齢群別では0～1歳24.7%、2～3歳22.2%、4～5歳18.1%、6～7歳10.7%の順であり、5歳以下で全報告数の60%前後を、7歳以下で70%以上を占めているのは例年と同様である。感染性胃腸炎は、その報告数が11月に入ると急増し、12月中（第49～52週）にピークを迎えるという流行を殆どの年で繰り返してきた。2010年は第39週以降、過去10年間の同時期の報告数としては2006年に次ぐ高い値で推移しており、その高い水準を維持したまま第42週以降継続的に増加してきている。12月に入り、感染性胃腸炎の報告数はさらに増加するものと予想される。第36週以降に全国の地研から報告されているノロウイルスは、過去2年間と同様に、ほとんどが遺伝子群（Genogroup）IIである。感染性胃腸炎の発生動向とノロウイルスの検出状況には今後とも注意深い観察が必要である。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(48週)	高知県(49週末累計) H22/1/4~H22/12/12	
			中央東	高知市	中央西							
内科・小児科	インフルエンザ	1	1				1	3 (0.06)	1 (0.02)	3,333 (0.70)	2,596 (54.08)	
小児科	咽頭結膜熱		3	9			2	14 (0.47)	16 (0.53)	1,470 (0.49)	445 (14.83)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	15	20	2	1	14	55 (1.83)	53 (1.77)	6,142 (2.03)	1,095 (36.50)	
	感染性胃腸炎	19	118	230	50	37	30	484 (16.13)	325 (10.83)	47,994 (15.84)	8,985 (299.50)	
	水痘	4	19	29	13	3	2	70 (2.33)	73 (2.43)	6,523 (2.15)	2,002 (66.73)	
	手足口病			5		1		6 (0.20)	3 (0.10)	778 (0.26)	3,241 (108.03)	
	伝染性紅斑			2				2 (0.07)	4 (0.13)	1,545 (0.51)	238 (7.93)	
	突発性発疹	1	3	3		1	5	13 (0.43)	20 (0.67)	1,678 (0.55)	609 (20.30)	
	百日咳								2 (0.07)	82 (0.03)	78 (2.60)	
	ヘルパンギーナ								2 (0.07)	126 (0.04)	1,035 (34.50)	
	流行性耳下腺炎			3			10	2	15 (0.50)	7 (0.23)	3,742 (1.23)	281 (9.37)
	RSウイルス感染症		3	21					24 (0.80)	12 (0.40)	2,830 (0.93)	858 (28.60)
眼科	急性出血性結膜炎									10 (0.01)	2 (0.67)	
	流行性角結膜炎									435 (0.64)	75 (25.00)	
基幹	細菌性髄膜炎								2 (0.29)	8 (0.02)	15 (2.14)	
	無菌性髄膜炎						1	1 (0.14)		11 (0.02)	21 (3.00)	
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)	7 (1.00)	330 (0.71)	98 (14.00)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									15 (0.03)	23 (3.29)	
計 (小児科定点当たり人数)		28 (13.75)	162 (23.09)	323 (29.27)	65 (21.67)	53 (26.50)	57 (11.13)	688 (22.83)				
前週 (小児科定点当たり人数)		20 (10.00)	100 (14.29)	247 (21.61)	78 (26.00)	35 (17.50)	47 (9.40)		527 (17.25)	77,052	21,697 (682.98)	

定点当たり

第49週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(48週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	0.25	0.09				0.13	0.06	0.02	0.70
小児科	咽頭結膜熱		0.43	0.82			0.40	0.47	0.53	0.49
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	2.14	1.82	0.67	0.50	2.80	1.83	1.77	2.03
	感染性胃腸炎	9.50	16.86	20.91	16.67	18.50	6.00	16.13	10.83	15.84
	水痘	2.00	2.71	2.64	4.33	1.50	0.40	2.33	2.43	2.15
	手足口病			0.45		0.50		0.20	0.10	0.26
	伝染性紅斑			0.18				0.07	0.13	0.51
	突発性発疹	0.50	0.43	0.27		0.50	1.00	0.43	0.67	0.55
	百日咳								0.07	0.03
	ヘルパンギーナ								0.07	0.04
	流行性耳下腺炎			0.27		5.00	0.40	0.50	0.23	1.23
	RSウイルス感染症		0.43	1.91				0.80	0.40	0.93
眼科	急性出血性結膜炎									0.01
	流行性角結膜炎									0.64
基幹	細菌性髄膜炎								0.29	0.02
	無菌性髄膜炎						1.00	0.14		0.02
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	1.00	0.71
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.03
計 (小児科定点当たり人数)		13.75	23.09	29.27	21.67	26.50	11.13	22.83		
前週 (小児科定点当たり人数)		10.00	14.29	21.61	26.00	17.50	9.40		17.25	

2010年週報推移(定点当たり)

